（別紙4（2））

事業所名：グループホーム悠祐

作成日：　平成　28　年　　1　月　　19　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	個別外出は一部の入居者にしか実施できていない。	入居者の生活歴の収集に努め、一人ひとりの思いに沿った外出を計画し実施できる。	○個別外出の推進 ・生活歴の確認 ・一人ひとりの外出への希望を確認 （自宅や馴染みの場所等） ・ご家族との調整 ・年間計画の中で全員へ個別計画を実施していく。	12ヶ月
2	35	定期的に避難訓練を実施しているが、ホームの中だけの訓練であり、現実的な地域との訓練は実施できていない。	地域と連携した避難訓練を実施し、実践的な避難マニュアルを作成し、安心安全な避難、対応ができるようにする。	○実践的な防災マニュアルの作成 ・運営推進会議のメンバー、地域住民、利用者家族　等との訓練の実施 ・地域の防災訓練への参加 ・行政の実施する研修への参加 ・定期的な防災教育・机上訓練の実施	12ヶ月
3	10	職員とご家族との交流は、面会時の挨拶や行事参加の際に限られ、勤務時間の短い者はご家族との馴染みも薄い。 また、今回アンケートでは職員の名前の表示を希望する意見があった。	職員一人ひとりの名前を覚えて親近感等を持って頂き、意見や要望等を出しやすい雰囲気を作る。	○職員の紹介ボードの作成・掲示 職員の顔写真、氏名、自己紹介、介護に関する目標等を紹介するボードを作成し、各ユニットの入り口に掲示する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。